

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009仙第41号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年4月1日 19時45分ごろ	
発生場所	新潟県佐渡市両津港北防波堤東端から真方位070° 200m付近 (概位 北緯38° 04.9′ 東経138° 27.2′)	
事故等調査の経過	平成21年4月3日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、旅客74人を乗せ、車両27台を搭載し、船首約4.5m、船尾約5.5mの喫水で両津港を出港し、新潟港に向かった。両津港北防波堤を通過したのち、主機両舷のプロペラピッチを上げたところ、平成21年4月1日19時45分ごろ、船体の振動が発生するとともに、エンジンの排気温度上昇の警報が鳴り、左舷機に異常な負荷がかかったため、新潟港への航行を断念して、両津港へ引き返し、当便は欠航となった。 その後、ダイバーによる水中調査の結果、左舷推進器及び同推進器軸付近に絡網した大量の漁網が発見され、除去された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし なし 本船は、航行中、水面下に浮遊していた大量の漁網を推進器等に絡網したものと考えられる。
原因	本インシデントは、夜間、両津港北防波堤付近において、本船が航行中、水面下に浮遊していた大量の漁網を左舷推進器等に絡網したため、左舷機の運転が不能となったことにより発生したものと考えられる。	